

岩手県広域防災拠点配置計画（令和6年3月変更後）の概要

【令和6年3月変更の趣旨】

復興道路等の整備の進展、風水害の激甚化、災害対応の広域化等、当初計画策定後の動向を踏まえ、変更を実施したもの

【令和6年3月変更のポイント】

- ①これまでの5エリアに加えて、新たに5エリアを追加（追加するエリア：一関、久慈、宮古、釜石、陸前高田）
- ②広域防災拠点構成施設として新たに14施設を追加（主な追加施設：久慈市総合防災公園、グリーンピア三陸みやこ、平田公園、夢アリーナたかた）
- ③既存エリア内構成施設の現況調査を実施→結果として、2施設を除外、6施設を追加（除外：二戸市労働環境施設運動広場（大平球場）、二戸市空中消火等補給基地 主な追加施設：二戸市防災倉庫、県遠野合庁・北上合庁）
- ④上記の結果、これまで29であった広域防災拠点構成施設数は、47施設となるもの
- ⑤ほか、想定災害への風水害追加など、必要な整理を実施

【計画の目的、配置に当たっての基本方針、想定災害】（第1章）

- 東日本大震災津波の災害対応検証を踏まえ、平成24年度に策定した「岩手県広域防災拠点整備構想」（以下「整備構想」という。）の具体化を図るもの。
- 配置に当たっては、県内にある既存施設の活用を前提とし、当該施設に広域防災拠点の機能を配置する分散連携型を基本とするもの。
- 想定する災害は、地震、津波、火山、風水害などの大規模災害としたもの。※風水害は令和6年3月変更において追加

【広域防災拠点のタイプ及び配置地域】（第1章）

タイプ	内容
広域支援拠点（タイプA）	効率性や物理的な制約から県内全域で発生する大規模災害に対応する人・物・情報に関する機能を有する拠点（県央部を中心とした地域に配置）。
後方支援拠点（タイプB）	被災地により近い場所で被災地支援を担うために、前進基地として、被災地で活動する人・物・情報に関する機能を有する拠点（県内複数箇所に配置）。

※ 両タイプの拠点が、災害時に連携し、一体として防災拠点機能を発揮。

【広域防災拠点に備えるべき機能】（第1章）

	機能	広域支援拠点	後方支援拠点
人	支援部隊等のベースキャンプ・現地活動調整機能（前進基地機能）	—	○
	支援部隊の現場活動支援機能	○（要員交替等）	○（補給機能）
	災害医療活動支援機能	○	△
	広域医療搬送拠点機能	○	△
物	平常時における物資・資機材の備蓄機能	○	○
	支援物資の受入・分配機能	○	△
	ヘリコプター基地・展開機能	○（基地機能）	○（展開機能）
情報	情報収集伝達機能	○	○

【広域防災拠点の配置箇所等】（第2章）

1 配置箇所の選定

当初計画策定時において設定した5つのエリア（盛岡・花巻、二戸、葛巻、北上、遠野）に加えて、後方支援拠点（タイプB）として一関エリア、久慈エリア、宮古エリア、釜石エリア及び陸前高田エリアを新設

2 広域防災拠点活用可能施設調査の実施

市町村への照会結果等をもとに選定した施設を対象として、調査を実施

3 構成施設の選定基準

当初計画策定時における考え方を踏まえ10項目を共通基準として設定

4 構成施設等（エリア別）

- 令和6年3月変更において新たに位置付ける施設

一関	平泉スマートIC駐車場（平泉町）、一関運動公園（一関市）
久慈	オーシャン・ビュー・スタジアム（洋野町）、久慈市総合防災公園、久慈総合運動場及び久慈地区空中消火等補給基地（サンスポーツランド）（以上久慈市）
宮古	道の駅たのはた及び周辺施設群（田野畑村）、ふれあいらんど岩泉及び周辺施設群（岩泉町）、グリーンピア三陸みやこ、へいがわ老木公園（以上宮古市）、山田町総合運動公園（山田町）
釜石	大槌学園・大槌高校（大槌町）、平田公園（釜石市）
陸前高田	陸前高田市消防防災センター、夢アリーナたかた（いずれも陸前高田市）

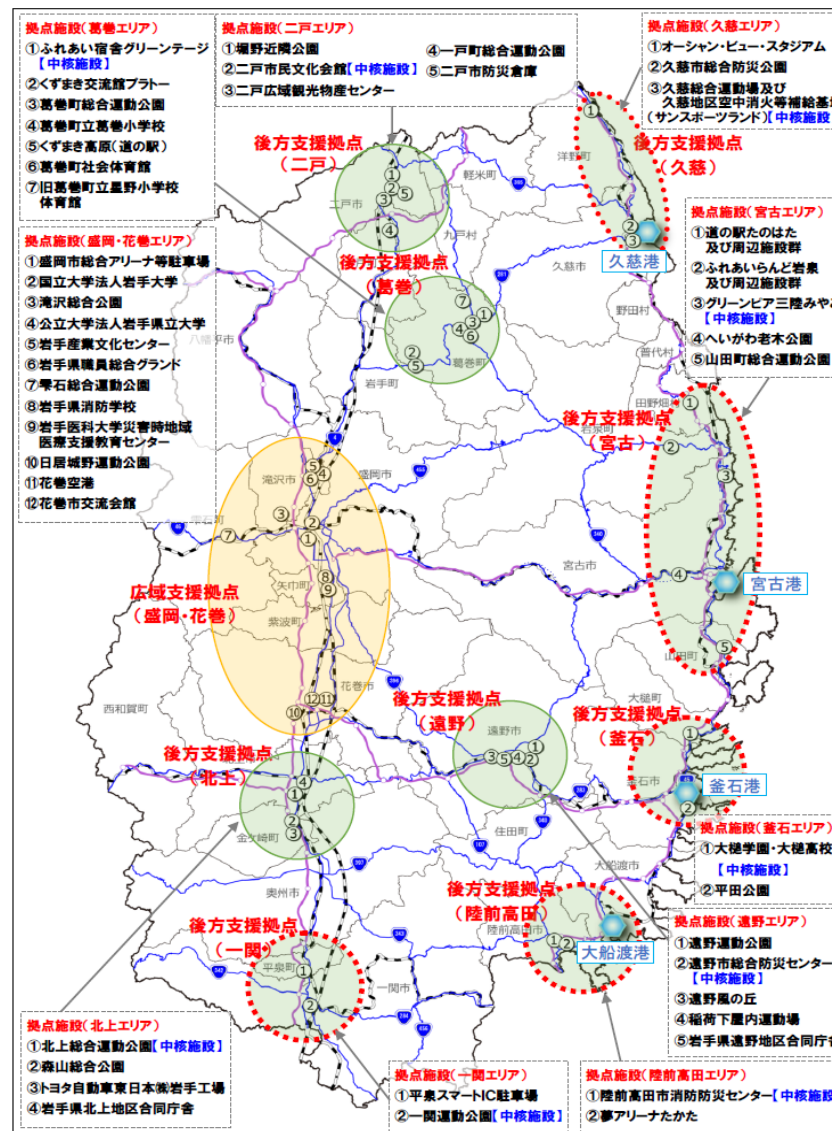
- 継続して位置付ける施設等

盛岡・花巻	盛岡市総合アリーナ等駐車場、国立大学法人岩手大学（以上盛岡市）、滝沢総合公園、公立大学法人岩手県立大学、岩手産業文化センター、岩手県職員総合グラウンド（以上滝沢市）、雫石総合運動公園（雫石町）、岩手県消防学校、岩手医科大学災害時地域医療支援教育センター（以上矢巾町）、日居城野運動公園、花巻空港、花巻市交流会館（以上花巻市）
二戸	堀野近隣公園、二戸市民文化会館、二戸広域観光物産センター（イベントホール・メッセホール部分）、二戸市防災倉庫（以上二戸市）、一戸町総合運動公園（一戸町）
葛巻	ふれあい宿舎グリーンテージ、くすまき高原牧場、葛巻町総合運動公園、葛巻町立葛巻小学校、くすまき高原（道の駅）、葛巻町社会体育館、旧葛巻町立星野小学校体育館（いずれも葛巻町）
遠野	遠野運動公園、遠野市総合防災センター、遠野風の丘、稲荷下屋内運動場、岩手県遠野地区合同庁舎（いずれも遠野市）
北上	北上総合運動公園、岩手県北上地区合同庁舎（いずれも北上市）、森山総合公園、トヨタ自動車東日本（株）岩手工場（以上金ケ崎町）

5 必要な設備等の整備

平常時における物資・資機材の備蓄機能、情報収集伝達機能について整理

【広域防災拠点の配置イメージ】（第2章）



【中長期的な課題への取組の方向性】（第3章）

1 情報収集伝達機能の整備方針

小型地球局（V-SAT）等の通信機器の導入（国や民間の動向を引き続き注視し、広域防災拠点への配置について検討）

2 集中配置型の広域防災拠点整備の方向性

○ 各県の状況等を調査しながら、その可能性について中長期的な観点で検討

○ 災害対策本部オペレーション機能の充実・強化については、オペレーションに必要な不可欠な情報機能の充実・強化を重点に検討を進める

3 広域防災拠点構成施設等の見直し

○ 市町村等を対象に毎年度連絡会議及び書面による調査等を実施し、当該構成施設の将来的な動向の把握のほか、県内における新規施設整備の動向等を把握

○ 広域防災拠点活用可能施設調査結果を整理・保存し、必要に応じて実地調査を行って、その内容の更新を行う

○ 毎年度、構成施設等の見直し（機能の見直し、運用面での見直しを含む。）を行い、必要に応じて本計画の変更等を行う